

9月は教会学校月間



教会学校奉仕者ブックレットⅡ

# 「あなたの問いが クラスを**生**かす」

～豊かなクラス運営のために～

発行：日本バプテスト連盟宣教部 教会教育室  
〒336-0017  
さいたま市南区南浦和1-2-4  
発行日：2012年8月1日



名前

---

## 目次

はじめに	1
共同学習	2
教会学校による教会の形成	3
牧師のリーダーシップ	4
リーダーの養成	5
互いに聞きあう姿勢で	6
『聖書教育』を良く用いて	7
「生の全領域」に関わる視点を培う	8
各クラスが目指すべきもの	9
クラスの実際から準備へ	10
謙虚さと柔軟さをもって	11
アウトリーチ	12
メモ	13

## メモ



## アウトリーチ

**Q.** 教会学校の書記になったのですが、メンバーの出欠をとったり、お手紙を出したりするほかに、どんなことが大切ですか？

● げんじろうさん

いちにもににもひとりのために祈ることですぞ。昔、先輩から「リーダーたるもの、名簿にあるひとりひとりの名前の上に手を置いて毎日祈りなさい」と教えられました。

● てつさん

「～ねばならない」ではなく、「しばらくお会いしてないから手紙を書いてみよう」「教会に来られないよだからおたずねしてみよう」と思うとき、その自分の心の動きを大切にしたいです。

● あなたはどう思いますか？

## はじめに

日本バプテスト連盟では、夏休み明けの9月を「教会学校月間」として、教会学校を特別にアピールする機会をもっています。この期にあわせて「教会学校奉仕者ブックレットⅡ」をお届けします。

今回は、よく研修会などで聞かれる「問い」をとりあげました。この「問い」を材料にして、奉仕者がそれぞれの思いを分かち合い、各自あらたな視点を得ることができれば、と願っています。問いやそれに対するコメントは、実際の教会学校奉仕者から出てきたものを文章化しました。それらをひとつの意見として受け止めて、学び会などで発展させていただけたら幸いです。

新しく奉仕者になられた方も、「ベテラン」奉仕者の方も、ときどき立ち止まって自分自身やクラスの様子を振り返ってみることはとても大切です。いつでもどこでも正しいなどという「正解」はないのでしょうか。教会のそのときの事情やクラスに集う方々の状況に応じて、そのつど適切な対応が求められるからです。自由に語りあってみましょう。そしていつも「こんな時はどうしたらいいんだろう」という「問い」を持って仲間と語り合いながら奉仕が続けられたら、嬉しいですね。

「ブックレットⅠ」（2009年発行）と項目を同じにしましたので、そちらも参考にご活用ください。

2012年8月

日本バプテスト連盟宣教部  
教会教育室室長 榎本 謙

## 共同学習

**Q.** 「共に学びあう」とはいうけれど、みんなが自分の感じたことだけを言いあって終わっても、「学び」になるのでしょうか？「学習」というからには、聖書の知識や大事な教えを聞いて蓄えたいのですが。

● ひまわりさん

聖書の知識や教えは何のために必要なのか？み言葉を伝えたい「相手」がいるからこそ必要なのだと思います。自分の知識よりも、私が伝えたい相手は誰かなとまず考えてみたいと思います。

● コウジさん

私は聖書のメッセージをお互いに聴き合う場が教会学校だと思っています。聖書の知識や教えを蓄えることも大切になるでしょうし、クラスの仲間の中でみ言葉から証しを聴くことも大切。両方の視点で共にクラスを作り上げたいな。

● あなたはどう思いますか？

## 謙虚さと柔軟さをもって

**Q.** 成人科リーダーです。『聖書教育』の「おはなし」の頁はこどもに語って聞かせるためのページだと理解していたのですが。

● るつさん

信仰生活何十年の大先輩が「おはなし」を読んで「そういうことか！」と大声を出しておられました。「おはなし」の持つメッセージは、どの年代の人が読んでそれぞれに豊かに届くものだと感じています。

● てつさん

ある週の「おはなし」の頁を読んでいて、自分がその物語の舞台に入り込んでいるような気持になったことがありました。「おはなし」することの力ってすごい！！

● あなたはどう思いますか？

## クラスの準備から実際へ

**Q.** 時間をかけて準備をしてクラスに臨んでも、話題がぜんぜん違うところにそれで、盛り上がってしまうことがあります。徒労感を感じます。

● あすかさん

私の場合、自分が「伝えたいこと」「調べてきたこと」を発表する形だと、どうしてもうまくいかない体験がありました。今では、少しやり方を変えて、「発表」よりも「問い」を投げかけることに重きを置くようにしています。

● コウジさん

準備に時間はかかりますが、私はワンポイントに絞って準備するようにしています。ポイントが多いと話題がそれがちなので、なるべくひとつのテーマをしっかり分かち合い、あとはフリーに意見や感想を出し合っています。

● あなたはどう思いますか？

## 教会学校による教会の形成

**Q.** 私の教会では、日曜日の「教会学校」というと、子どもが対象のイメージです。おとな（成人）は週日に聖書の学び会があるので、それで十分とはいえないのでしょうか。おとなの教会学校は、何をいちばんに期待して行えばいいのでしょうか？

● あすかさん

礼拝では静まってみ言葉を聞いて受けとめる時間、教会学校では違った考えのひとの意見も聞く時間。「聞く」姿勢はとても大切だと感じています。週日の教会学校というのも、いいですね！

● るつさん

私は教会学校での学びで、いつも新しい気づきをもらえるのでわくわくします。大人になるとなかなか自分ひとりでは「変わる」とか「気づく」ということができないので。

● あなたはどう思いますか？

## 牧師のリーダーシップ

**Q.** 牧師先生は、教会学校の聖書箇所を事前に聖書研究してくださっているのですが、その場に出席できないリーダーが多いです。学びが奉仕者全員に届くための良い工夫はありますか？

● ひまわりさん

牧師からリーダーにという流れと同時に、リーダーから牧師へという流れも作ってみるのはどうかな。いつも牧師の考えをとというのではなく、発信側と受信側がときどき入れ替わるような工夫も。

● てつさん

会社で“本社の方針を支店に漏れなく伝達するためには”というようなことを話すことがあるかと思います。ただし、“周知徹底”が目的になると大事なものがこぼれてしまうかも。教会と会社の違いがあるとすればそれは“言葉を届ける”ときのその人の体温が大事ということでしょうか。

● あなたはどう思いますか？

## 各クラスが目指すべきもの

**Q.** 教会に来て間もない方をクラスに迎えました。教会生活の長い方と新来者の方、どちらに合わせればいいのか、判断が難しいときがあります。

● あすかさん

この前新来者が来られたとき、クラスを担当していた私自身はいつもどおりにクラスをリードし、一人の方に新来者をサポートしてくれるようお願いしました。サポートしてくれた方は、その後もその新来者の方をずっと気にかけてくれています。

● てつさん

ある日新来者を迎えたクラスで、入念な心配りをしながらスタートしました。そのうちクラスはその方をそっちのけでヒートアップした人同士のやり取りが中心になってしまい、“あー新来者の方に申し訳なかったな”と思っていたら「私には全然分からないことで盛り上がってて、楽しかったです」とその方から言われました。決めつけなくていいかもしれないですね。

● あなたはどう思いますか？

## 「生の全領域」に関わる視点を培う

**Q.** 「教会学校の目的」のなかの「生の全領域」という表現がよくわかりません。どういうことですか？

● るつさん

私は自分が、教会生活と社会生活を分けてしまっているかもしれないと思うことがあります。職場で“み言葉に従うことが難しい”と感じたとき、「生の全領域」という言葉を思いだしています。

● あすかさん

私は、「社会的・歴史的な視点を持って」聖書を読むことだとそれを理解しています。社会を必要とし、社会から必要とされる教会でありたいです。聖書の視点に立とうとするゆえに、社会の在り方を批判することも時にはあると思います。

● あなたはどう思いますか？

## リーダーの養成

**Q.** 新しく教会学校のリーダーになってほしいと願っても、「私にはまだ早いです」「無理です」と言われ、なかなか引き受けてくれる人がいません。何年も同じ人が奉仕に関わっています。

● てつさん

リーダーを立てようとしたけど続かなかった経験があります。考えたあげく、かならずリーダーがいなければ、という思いを一度横に置いて、口火を切るスターター（発題者）を順番にお願いすることにしました。結果、各メンバーの性格がよく生かされて自然に調和していきました。

● ひまわりさん

私のクラスにはリーダーが二人。お互いに役割をはっきりさせて（例えば名簿の整理、教材準備の手伝いなど）チームで担い合っています。

● あなたはどう思いますか？

## 互いに聞きあう姿勢で

**Q.** 以前は熱心に出席していた方が、この頃クラスに出席されなくなりました。理由を聞くと、「〇〇さんの聖書理解は自分とは違って受け入れられない。議論になるから出たくない」と言います。どうしたらいいでしょう。

### ● コウジさん

少し時間をおいてみて、出席されなくなった方に牧師か気の合う教会員がお話を聞いて共にお祈りしては如何でしょうか？年度替りにさりげなくクラスを変えてみるのも一案かな、と。

### ● てつさん

一人の人が出席しなくなる、というのは大切な課題をもらっている「時」。きっと省(はぶ)いちゃいけない双方にとって必要な「時」なのだと思います。私のクラスでもひとりの方が来なくなった経験があり、「やり方がよくないのかなぁ」と悩んで揺れ続けました。特別に何をしたわけでもないのですが、ある日、その方がクラスに出席されました。7年ぶりでした！

### ● あなたはどう思いますか？

## 「聖書教育」を良く用いて

**Q.** 私のクラスは、リーダーだけでなく、メンバーも『聖書教育』を購読しています。時々「『聖書教育』の考え方は偏(かたよ)っている」という反発の意見が出て、リードに困ります。

### ● コウジさん

反発するような考え方を通じて、自分が考えていることがはっきりしたり、深まったりすることがあります。準備のときに『聖書教育』と対話することで、クラスメンバーと対話するための準備ができていくのではないかなあ。

### ● あすかさん

私はメンバーの発言を否定しないことを心がけています。その方の言うことにも一理あるかも、という気持ちで受けとめます。「その御意見を『聖書教育』読者アンケートに投稿してはどうですか？」と試みてみることもあります。

### ● あなたはどう思いますか？